

2 給衛協発第 43 号  
令和 2 年 10 月 9 日

関係各位

一般社団法人全国給水衛生検査協会  
会長 奥村 明雄  
(代表印省略)

## 令和 2 年度全国飲料水検査研究発表会の開催について

### (ご案内)

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業の推進につきましては、平素格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、水道法第 20 条に規定される水道水質の検査を的確に行うために、日頃から検査員の研鑽に努めているところですが、これらの成果を発表する場として、標記の研究発表会を毎年開催いたしております。

本年度も、下記の日程にて開催することといたしますので、検査機関の皆様の積極的なご参加と、関係の皆様のご聴講をいただきますようご案内申し上げます。

今年度は、活動を自粛している支部もあることから発表演題数が例年より少なくなっております。したがって、2 日間の日程を今回は、午前午後の 1 日とし、情報交換会も実施致しません。

研修会の午前の部は、飲料水検査技術研修会でご講演いただく予定にしておりました国立医薬品食品衛生研究所第三室長小林憲弘様に基調講演をお願いし、午後からは研究発表と令和元年度外部精度管調査結果報告といたしました。

関係の皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染防止に努め、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 開催期日：令和 2 年 11 月 30 日(月) (別紙プログラム参照)
2. 開催場所：大田区産業プラザ 4 階コンベンションホール (別紙地図参照)

3. 基調講演：「水道水質検査方法に関する最新情報」

国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部

第三室長 小林 憲弘

4. 発表内容等：◇全国3支部からの研究発表

5. 参加人員：75名程度(大田区産業プラザのコンベンションホールは、180名の定員ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため収容人数が大幅に制限されております。参加人員については、上限を設定いたします。)

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

6. 参加費(今年度の情報交換会は実施しません。)

- |                     |     |            |
|---------------------|-----|------------|
| ・20条正会員、賛助会員、地方公共団体 | 参加費 | 10,000円/1名 |
| ・非会員                | 参加費 | 20,000円/1名 |

※参加費のキャンセルは、11月24日(火)を過ぎますと、ご返金出来ませんのでご了承ください。

7. 申込方法

別紙申込書に必要事項を記載の上、事務局宛にFAXまたはメールで11月20日(金)迄にお申し込み下さい。申し込み後、参加票、請求書をご送付いたします。

※送金手数料は参加者様のご負担になりますので、ご承知おき下さい。

※10:50からの開催となりますので、必要に応じて昼食とお茶等は各自でご用意していただくか、近隣の飲食店のご利用をお願いします。(4階のレストランと1階の喫茶店は営業を中止しております。)

※新型コロナウイルス感染防止について

新型コロナウイルス関連肺炎の感染状況に鑑みまして、研修会開催にあたり、下記について励行することをお願い申し上げます。

◇ご来場される際のお願い◇

(1) 以下に該当する場合は、出席をお控えください。

- ・体調がよくない場合

(例：発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合)

- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 会場内でのマスク着用、手洗い・うがい、咳エチケットの徹底にご協力をお願いします。
- (3) その他、感染防止のために本協会が当日依頼する事項にご協力ください。

問い合わせ先：〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6  
一般社団法人全国給水衛生検査協会 事務局担当：大和田いづみ  
TEL：044-270-4375、FAX：044-270-4376  
E-mail：[kyueikyo@kyueikyo.jp](mailto:kyueikyo@kyueikyo.jp)

令和2年度 全国飲料水検査研究発表会  
プログラム(予定)

11月30日(月)

10:30~10:50 受付

司会・進行 技術委員 今井 克浩 (一社)京都微生物研究所  
技術委員 佐藤 弘三 (一財)宮城県公衆衛生協会

10:50~11:00 開会挨拶 会長 奥村 明雄

11:00~12:30 基調講演 「水道水質検査方法に関する最新情報」  
国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室長 小林 憲弘

12:30~13:30 休 憩 (※昼食)

13:30~14:15 座 長: 技術委員 大湊 透 (一財)新潟県環境衛生研究所

13:30~13:45 ①「パージ・トラップ GC/MS 分析パージガス変更による精度確認とヘリウム使用量の削減」  
(一財)東海技術センター 伊藤 里紗

13:45~14:00 ②「ホルムアルデヒド測定(GC-MS)の誘導體化反応における pH の影響」  
(一財)北陸保健衛生研究所 坂本 陽平

14:00~14:15 ③「LC-MSMS 法による水道用次亜塩素酸ナトリウム溶液中の臭素酸分析事例」  
(一社)埼玉県環境検査研究協会 渡邊 健介

14:15~14:30 ④「IC-MS/MS を用いた水道水中臭素イオン、ハロ酢酸類  
及び陰イオン成分一斉分析法の検討」  
(一財)岐阜県公衆衛生検査センター 松巾 宗平

14:30~15:15 座 長: 技術副委員長 矢尾 眞 前澤工業(株)

14:30~14:45 ⑤「上水から分離された微小コロニー形成菌について(仮)」  
内藤環境管理(株) 貝森 繁基

14:45~15:00 ⑥「災害・事故発生時におけるペットボトルを用いた  
VOC 測定用試料採取容器代用の可能性について」  
(一財)三重県環境保全事業団 萩尾 珠世

15:00~15:15 ⑦「広島県内の臭素化ハロ酢酸の実態把握と生成に関する調査」  
(一財)広島県環境保健協会 (口演者名未定)

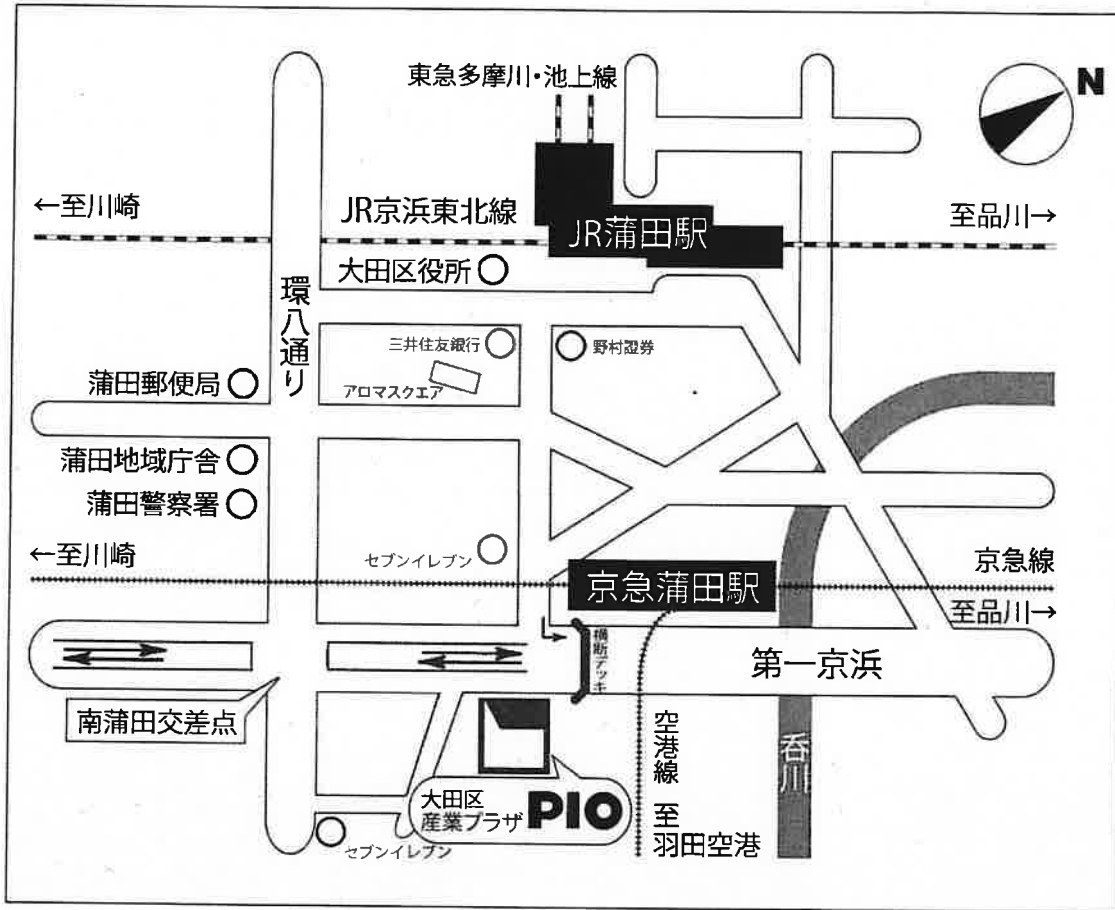
15:15~15:30 休 憩

15:30~16:30 令和元年度飲料水検査精度管理調査報告 技術委員長 中村 弘揮

16:30~16:45 講評・閉会挨拶: 技術委員長 中村 弘揮 (一財)岐阜県公衆衛生検査センター

## ■案内図

〈所在地〉〒144-0035 東京都大田区南蒲田一丁目20番20号



- ・京浜急行線・空港線／京急蒲田駅東口より徒歩約3分  
京急蒲田駅まで、品川・横浜・羽田空港から約10分
- ・JR京浜東北線、東急多摩川線・池上線／蒲田駅東口より徒歩約13分

# 令和2年度 全国飲料水検査研究発表会参加申込書

事務局E-mail : kyueikyo@kyueikyo.jp

事務局FAX : 044-270-4376

一般社団法人全国給水衛生検査協会  
会長 奥村 明雄 殿

勤務先名	
住所	〒
TEL :	
FAX :	
参加者名	

※請求書の宛名・送付先が上記の住所と異なる場合ご記入ください。

宛名 :

住所 : 〒

担当者 :

問い合わせ : 一般社団法人全国給水衛生検査協会 事務局 TEL : 044-270-4375